



おお、あんたかー

声を荒げてうずくまつたのは
大荷物を抱えた高齢の男性だ。
拒まれても、横にしゃがみ込む。
長い沈黙を破つて名刺を差し出すと
男性が顔を上げた。

話しかけるなつ！

真夜中、誰もいない百貨店の前。
ベンチに座る人影に近づく。

“こころ”を聴く—

他者の“こころ”を聴くために

自分の“こころ”を澄ましているだろうか？

他者の“こころ”が語り始めるまで

自分の“こころ”は待っているだろうか？

他者の“こころ”が聴こえる距離に

自分の“こころ”は寄り添えているだろうか？

講師の奥田知志さんは、北九州市で生活困窮者の支援を続けて30年。

この一枚の写真が物語っているように“こころ”と向き合ってきた。

今、新型コロナウイルスの感染拡大によって

人や社会、生活や経済、過去と現在と未来が分断されつつある。

そんな今だからこそ、

他者の“こころ”を聴く必要があるのかもしれない…

そんな今だからこそ、

人権について大切に考え、行動することを奥田さんから学びたいと思う。

9.24

13:30 ~ 15:30 (木)

クリスタルアージョ
大ホール

定員 100 名 申込みが必要です。

申込先：吉田人権福祉センター

☎ 42-2826

講師

NPO 法人抱樸（ほうぼく）

理事長

奥田 知志 さん



1963 年生まれ。

1990 年東八幡キリスト協会牧師として赴任。同時に学生時代から始めた「ホームレス支援」をボランティアとしてだけでなく教会の課題として継続し現在に至る。

NHK 「プロフェッショナル仕事の流儀」に 2 度取り上げられる。

主催：安芸高田市／吉田人権啓発推進町民会議

講演

2020 年度 人権啓発連続講座（第 1 回目）

「コロナ禍の今と後を生きる」